

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年9月24日

2002年9月22日現在

9月22日迄の1週間の気温は平年を10度以上上回り、日中の最高気温は89～95度を記録した。東北地区では1週間の降雨量1.50インチを記録したが、他の地区は0.5インチ程度であった。東南部で霜が記録されている。

硬質春小麦の収穫は、州全体では96%（昨年：100%、平年：96%）の圃場で完了した。

デュラム小麦の収穫は83%で完了（昨年：94%、平年：85%）した。

この週の平均農作業可能数は5.8日であった。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	16	31	46	7
Last week (%)	16	29	52	3
Last year (%)	6	33	59	2
5-yr. Ave. (%)	9	27	59	5

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	18	29	48	5
Last week (%)	16	30	51	3
Last year (%)	6	27	64	3
5-yr. Ave. (%)	9	26	60	5

小麦生育状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat Combined (%)	96	90	100	96
Durum wheat Combined (%)	83	70	94	85

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

州東北地区で収穫された硬質春小麦の品質は、昨年と比較し多少蛋白質は低く、容積重は高い傾向にある。灰分は昨年より低い結果が出ている。北西地区の硬質春小麦の品質は、昨年に容積重並びに蛋白質が低くなっている。蛋白質 (as is moisture) は平均14.44%（昨年：15.52%）、容積重は58.86lb/bu（昨年：59.44）との報告がある。又、Falling Numberの平均値は337であり、昨年の407秒より少ない結果と成っている。登熟期に入ってからからの降雨が低蛋白、低FN値、低容積重の原因と思われる。